

レベル	科目名	担当者 (ふりがな)	曜日・時限	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
1	日本語 1 総合 A	桂 千佳子 (かつらちかこ)	月曜・2限	N313	自分と相手の個性、自分と相手の文化的背景を考慮しながら、日本語での確かつ自由なコミュニケーションが行えるようになる。	多様な側面からの対話を日本語で行いながら、自分を知り、伝える。聞き手の立場では、相手の語りへの問いかけを通して、相手を知り、共感したり相違点を発見したりしながら関係を構築していく。その上で与えられた条件での発表をグループワークで行い、日本語を使ったチームビルディングを実践する。 扱うテーマは、社会課題を取り上げる。どこにどんな問題があるのか、自分なりの視点で説明できるようにする。 授業時にはアクティビティをすることが多いので、欠席しないようにすること。	プリント配布	授業での取り組み40%、 提出物 (Teamsの課題提出) 30%、発表30%
	日本語 1 会話 A	工藤聖子 (くとう せいこ)	火曜・1限	N107	複雑で、抽象的なことが話せ、相手や場面に応じた適切な話し方ができる。まとまった内容の抽象的な談話、専門的な談話が理解できるようになる。	論理的で説得力のある意見、情景や心情の詳しい描写、複雑なことの説明、社会問題の説明などを扱う。場面や相手に適した話し方、自分の意見を裏付ける情報の提示の仕方など、より分かりやすく使えるための表現や語彙を学ぶ。学んだ表現については適宜クイズを行う。	プリント配布	スピーチ30%、 平常点 (Teamsでの振り返りシート) 40%、 レポート30%
	日本語 1 講読 A	坂田睦深 (さかた むつみ)	火曜・2限	N313	複雑で抽象的なもの、論理的なもの、専門的なものが読めるようになる。	日本語の文章を正確にきちんと読み、理解できるようになる。論理的、抽象的な文章を読み、その内容について発表する。そのために、新聞の社説やコラムなど、短めの文章を精読し、要約や発表を行う。	『日本語を学ぶための「上級読解」入門』国書刊行会	1) 教科書の問題やその他の課題、論理トレーニングのクイズ: 40% 2) 社説の発表、詩の音読と発表、教科書の音読: 60%
	日本語 1 作文 A	荒巻朋子 (あらまき ともこ)	木曜・3限	N313	複雑で抽象的なもの、論理的なもの、専門的なものが書けるようになる。	メール、要旨、意見文、紹介文など様々な文章の書き方を練習する。お互いの作文を読み合い、意見交換、発表なども行う。	プリント配布	授業参加度 30%、 課題・発表 40%、 課題物 30%
	日本語 1 文法 A	斎藤敬太 (さいとう けいた)	金曜・2限	N313	上級の文法項目を習得する。	テキストを用いて文法項目を学んだあと、作文や発表で実際に使ってみることで身に付ける。ペアやグループでの活動も行う。	『マンガで学ぶ 日本語上級表現使い分け100』(アルク)	授業参加度30%、 課題30%、 発表40%
	日本語 1 漢字 A	稲田直子 (いなだ なおこ)	水曜・1限	N305	1000字程度の漢字およびそれを使った語彙の運用力をつける。	テキストの偶数課(2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16課)から履修者が選んだ6課を学習する。課ごとに行うクイズと、期末試験がある。このクラスでは漢字の使い方や、漢字を使った語彙の増やし方を中心に学んでいく。一人1回ずつ発表がある(履修者の人数によっては変更の可能性がある)。	Intermediate Kanji Book Vol.2 凡人社	授業参加度 (出席・発表) 40% 宿題提出 20% クイズ 20% 期末試験 20%
	日本語 1 聴解 A	新谷あゆり (しんや あゆり)	金曜・1限	N405	複雑で抽象的な談話の流れが聞き取れるようになる。	スピーチ、インタビュー、講義などを聞き内容を理解する。内容をまとめ、発表する。	プリント配布	参加度20% 課題40% 試験40%
	日本語 1 特別演習 A [ドラマで学ぶ日本語]	宮本典以子 (みやもと いていこ)	水曜・2限	N313	まとまった内容の抽象的な談話の流れが理解できるようになる。自分の考えを伝えることができるようになる。	日本のドラマや映画の鑑賞を通して「話し言葉」を実践的に学ぶ。学園に限らず、ビジネス、ミステリー、コメディ等さまざまなジャンルの作品を扱う。言語表現はピア活動等で学ぶ予定。 ・毎回課題シート提出。内容に関する問いに解答し、振り返りコメントを記入。 ・ドラマに関する発表や交流も1回以上実施予定。	プリント配布	提出物 (課題シート等) 50%、 授業参加度 (振り返りコメント、ピア活動、発表・交流活動等) 50%
	日本語 1 特別演習 A [ビジネスで学ぶ日本語]	福島恵美子 (ふくしま えみこ)	木曜・2限	N313	ビジネスに必要な日本語の表現を身につけ、日本語を使用するビジネス現場で求められるコミュニケーション能力を養う。	日本での就職の際に必要なエントリーシートの書き方や面接から始め、その後、連絡、相談、感謝、謝罪などの少し複雑なビジネスコミュニケーションについて学習する。また、ビジネス文書、ビジネスメールなどについても学習する。7月に発表を行うが、テーマについては相談して決める。	プリント配布	授業参加度 (出席・授業態度) 40% テスト20% 発表20% 課題20%
	日本語 1 特別演習 A [小説で学ぶ日本語]	鈴木 美恵子 (すずき みえこ)	木曜・1限	N401	日本語の小説 (主に短編小説) を翻訳を介さずに読み、日本語の小説を楽しみながら理解できるようにする。	日本語の小説 (主に短編小説) を読む。事前に文章を配布するので、それを各自授業の前に読んでくこと。授業は、学生が文章を読んできたことを前提に進める。授業では、読んで意味が分からなかった部分や、解釈に自信がないところをグループやクラス全体で確認し、その後、内容についてディスカッションを行う。学期の途中で、クラスメートにおすすめしたい本についての発表も行う。	プリント配布	授業参加度50% 提出物 (発表含む) 50%
	日本語 1 特別演習 A [アカデミック]	横山 和子 (よこやま かずこ)	月曜・3限	N313	レポートや論文などのアカデミックな文章を日本語で書くスキルを身につける。アカデミックな内容を明確に伝えるスキルを身につけ、発表後に的確な質疑応答ができるようになる。	研究のテーマ選び・資料収集・アウトラインの作成・レポート執筆までの各プロセスに必要な日本語の表現や規則について学びながらレポートを書き進めていく。発表で使用される表現・質疑応答の仕方について理解した上で、自分で選んだテーマにしたがって口頭発表を行い、相互評価を行う。	プリント配布	授業への参加態度20%、 課題40%、 レポート20%、 発表20%。 提出物が期限より遅れた場合は減点とする。

レベル	科目名	担当者 (ふりがな)	曜日・時限	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
2	日本語2総合A	横山 和子 (よこやま かずこ)	月曜・2限	N301	日本社会の理解につながる文章を読み、読解力をつけるとともに、テーマにそって自分の意見を論理的に表現できるようにする。	「好きな言葉」「教育」「外国人」の3つのテーマで、図書、新聞記事、統計資料などを読み、現代日本社会についての理解を深める。内容を予測しながら文章を読む力、読みとった内容を日本語で表現する力、物事に対する自分の意見を論理的に述べる力をつけることを目指す。	プリント配布	授業への積極性50%、活動(内容・日本語)50%
	日本語2会話A	荒井 直美 (あらい なおみ)	水曜・2限	N202	自分の考えや気持ちを伝えることができるようになる。具体的なまとった談話が理解でき、抽象的なものも流れが理解できるようになる。	自分の考えや気持ちを伝えることや、具体的なまとった談話が理解できるようになるために、テキストを使って会話練習をします。具体的にはペアワークやロールプレイ、グループディスカッションなどを予定です。課題の提出、授業連絡などにTeamsを使います。	清水果文編『みがけ！コミュニケーションスキル 中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』スリーエーネットワーク	授業参加度(出席・授業態度)50%、 課題・会話練習の取り組み50%
	日本語2作文A	福島恵美子 (ふくしま えみこ)	木曜・3限	N301	自分の意見を述べ、待遇表現が使えるようになる。	説明文、描写文、意見文、エッセイ、メールなどの様々な文章を書き言葉を用いて書いて、自分が書いた文章を、語彙、表現、文法、構成の点から書き直す練習をする。また、ピアラーニングによる評価をすることもある。これらの活動を通して、書く力を伸ばしていく。	プリント配布	授業参加度(出席・授業態度)40%、 作文(評価シートを含む)60%
	日本語2文法A	新谷あゆり (しんや あゆり)	金曜・2限	N107	中級後半～上級の文法項目を習得する。	中級から上級の表現文型を機能別に学ぶ。練習問題や作文などを通して身につける。	プリント配布	参加度20%、 課題20%、 試験60%
	日本語2漢字A	増田里香 (ますだ りか)	木曜・2限	N305	750字程度の漢字とその漢字を使ったことばを学習し、運用できるようにする。	漢字の意味とその漢字を使ったことばの意味と使い方を学ぶ。今学期は、教科書の第2課、第4課、第6課、第8課、第10課を、2回で1課学習していく。クラスでは漢字から語彙を広げたり、漢字語彙を使った文を作ったり、グループやペアで調べて発表したりする活動を行う。また、毎回、語彙や漢字のクイズを行う。	『Intermediate Kanji Book 漢字 1000 Plus, Vol.1』凡人社[改訂第3版]	出席・参加度20%、 課題・発表20%、 クイズ・テスト60%
	日本語2講読A	工藤聖子 (くとう せいこ)	火曜・2限	N107	具体的な文章内容で、ある程度の長さの文章が読めるようになる。	新聞記事、エッセイ、評論、短編小説など様々な文章を読む。談話の構成も意識しつつ、語彙や文の意味に注目しながら、日本語の表現を学ぶ。読んだ文章の内容について話しあったり、内容をまとめたりする。適宜語彙テストを行う。また、毎回授業の初めに速読の練習を行う。	プリント配布	授業への参加度 30%、 宿題の提出 20%、 クイズ 20%、 試験 30%
	日本語2聴解A	近藤智子 (こんどう ともこ)	木曜・1限	N405	具体的なまとった談話が理解でき、抽象的なものも流れが理解できるようになる。	「日本語が理解できた」から「テーマへの理解が深くなった」と自分で思えるような聞き方を目指す。そのために、「ことば」や「表現」「文法」を理解する聞き方ではなく「情報を取得できる」聞き方へと発展させていく。さまざまな表現に耳や口を鳴らすために、シャドーイングを日課とする。	プリント配布	平常点(出席・授業時の課題提出・話し合いへの参加度)50% 授業外の課題への取り組みと提出 50%
	日本語2特別演習A 【マンガで学ぶ日本語】	宮本典以子 (みやもと ていこ)	水曜・1限	N313	話し言葉やマンガ特有の表現が理解できるようにする。	日本のマンガの鑑賞(かんしょう)を通して、話し言葉を実践的に学ぶ。学園や社会、ファンタジー等さまざまなジャンルの作品を扱う予定。言語表現はピア活動等で学ぶ。 ・授業の始めに「マンガ多読タイム」を取る。読後、記録シート記入。 ・また毎回、課題シートを提出。 ・日本のマンガやアニメに関する発表も1回行う。	プリント配布	提出物(課題シート、多読シート等)50%、 授業参加度(振り返りコメント、ピア活動、発表・交流活動等)50%
	日本語2特別演習A 【ビジネスで学ぶ日本語】	笹目実 (ささめ みのる)	月曜・1限	N305	ビジネス場面で使用する日本語を話し、理解できるようにする。	社内や社外でどのような日本語を使って会話をするかモデル会話を学習してから、状況を決めてロールプレーを行う。アルバイトの面接のときなどにどのような会話をするのかを練習する。大学生が就職する時、どのような過程を踏んでいくのか学習する。ビジネス場面でどのように敬語を使用するのかを理解し、ロールプレーなどを通して学んでいく。自国の就職状況や会社などに関して発表する。	プリント配布	授業参加度(出席・授業態度)50% 発表30% 課題20%
	日本語2特別演習A 【発音】	石崎 晶子 (いしざき あきこ)	火曜・1限	N313	日本語音声の特徴を学び、聞き手にとってわかりやすい話し方を身につける。	日本語の音声の特徴を学ぶとともに、詩や物語の朗読、プレゼンテーションなど、聞き手に伝わりやすい話し方のポイントを練習する。インターネットや音声ソフトを利用した練習のしかたも紹介する予定。	プリントを配布する。	授業への参加度50%、 課題および発表50%
	日本語2特別演習A 【アカデミック】	許 夏玲 (ふい はーりん)	月曜・3限	N301	大学生活に必要と考えられる日本語表現を具体的に学び、アカデミックな場面で適切に日本語が使用できる実践力を身につける。	授業の前半では、主に文章表現(書き言葉)を中心に取り上げる。具体的な内容はレジュメ・小論文・レポートの書き方などを扱う。後半では、PPT発表、ポスター発表のための必要な発表内容の構成や表現を学び、日本語によるプレゼンテーションを行う。授業ではピア活動やグループ活動も重視する。プレゼンテーションのテーマについては、受講学生の関心に応じて設定する。	プリントを配布する。	授業への参加度50%、 課題(発表を含む)30%、 レポート20%
	日本語2・3特別演習A 【多読】	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	金曜・1限	N313	辞書(じしょ)や参考書(さんこうしょ)を見ないで、母語(ぼご)にやくさないで、日本語を「勉強することば」から「自分で使えることば」にする。	4つのルールを守(まも)って、「多読の読み方」で教室にある好きなものを読みます。わからないことばがあっても辞書(じしょ)で調(しら)べません。メモもしません。「楽しい気持ち」で、どんな読む「多読(たどく)」をします。読書記録をつけ、「おすすめの読み物」はみんなに発表(はつぷよう)し、その中から面白(おもしろ)いものを読む「ブックトーク」もします。読みものは、「みんなで共有(きょうゆう)」できるもの」とします。「日本語を読んで勉強する」のではなく、「日本語の本で遊ぶ」授業です。	*読むもの ①教室に準備してある本 ②授業時に紹介したサイトなど (自分だけの本は読みません)	読書記録(どくしょきろく)25% 授業時の取り組み(とりくみ)25% ブックトーク(発表)25% 学期末プロジェクト 25%

レベル	科目名	担当者 (ふりがな)	曜日・時限	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
3	日本語 3 総合 A 1	荒井 直美 (あらい なおみ)	火曜・1限	N305	初級後半から中級の文法や言葉覚えて、それを使えるようになる。	日本語の中級の文法(ぶんぽう)や言葉(ことば)をおぼえて、使えるようになるように、いろいろな練習(れんしゅう)をします。毎回(まいかい)、教科書(きょうかしょ)を読んで、予習(よしゅう)をしてきてください。かならず日本語3総合「A1」と「A2」両方(りょうほう)の授業(じゅぎょう)に出てください。	平井悦子・三輪さち子『中級を学ぼう 日本語の文型と表現56 中級前期 第2版』スリーエーネットワーク	授業参加度(出席・授業態度)40%、 宿題20%、 テスト40%
	日本語 3 総合 A 2	荒井 直美 (あらい なおみ)	火曜・2限	N305	初級後半から中級の文法や言葉覚えて、それを使えるようになる。	このクラスの目標は、中級の文法や言葉(ことば)を使って、自分の考えていることを日本語で表現(ひょうげん)できるようになることです。読んだり、聞いたりしたこと、書いたり、話したりできるように、毎回(まいかい)いろいろな練習(れんしゅう)をします。かならず日本語3総合「A1」と「A2」の両方(りょうほう)の授業(じゅぎょう)に出てください。	平井悦子・三輪さち子『中級を学ぼう 日本語の文型と表現56 中級前期 第2版』スリーエーネットワーク	授業参加度(出席・授業態度)40%、 宿題20%、 テスト40%
	日本語 3 会話 A	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	月曜・2限	N405	具体的なことが説明できるようになる。日常的で具体的な談話が理解できるようになる。	シャドーイングをすることでより日本語らしい発音ができるよう練習し、スピーチ発表に生かす。 モデル会話を聞いてきて、そこで使われている表現を使ったロールプレイを通し、場面にふさわしい表現を学んでいく。	プリント配布	授業参加度 30% Teamsでの課題提出 30% クイズ 20% 最終課題 20%
	日本語 3 講読 A	笹目実 (ささめ みのる)	月曜・2限	N305	日常的で長くない文章が読めるようになる。	文章を読み、理解できるようにするだけでなく、文法や語彙や表現の面からも学んでいきます。初級の後半から、中級の前半程度を学習者を対象と考えています。少しアカデミックな文章も読んでいきます。ストーリー性のあるものなど読んで楽しい文章を扱っていきます。一つ一つの言葉の意味を大切に読んでいきます。	プリント配布	授業参加度(出席・授業態度)50%、 課題30% クイズ20%
	日本語 3 作文 A	稲田直子 (いなだ なおこ)	水曜・2限	N305	具体的で、ある程度まとまりのある文章が書けるようになる。	文章(ぶんしょう)を書くときのルールや、文章の型(かた)を勉強します。授業では、メール、説明文(せつめいぶん)、意見文などの書き方を練習します。書いた作文はクラスメートに見せて、コメントをもらいます。授業ではパソコンで作文を書く予定です。	プリント配布	授業参加度 30% 課題提出 30% クイズ 20% 最終課題 20%
	日本語 3 文法 A	桂 千佳子	金曜・2限	S305	中級前半の文法項目を習得する。	初級の文法を復習しながら、それを中級の文法へとつなげていく。特に、まちがえやすい表現の使い方を理解し、使えるようにする。クイズや例文作成を積極的に行うようにしていく。	プリント配布(受講者によってはテキストを使うこともあります)	授業参加度 30% Teamsでの課題提出 30% クイズ 20% 最終課題 20%
	日本語 3 漢字 A	荒巻朋子 (あらまき ともこ)	木曜・2限	N405	基本(きほん)漢字400～500を学ぶ。	テキスト35課以降の漢字の読み方・書き方・使い方を勉強します。クイズ、中間・期末テストがあります。ペンで漢字を書くテストもあります。宿題、発表もあります。	【新版】『Basic Kanji Book—基本漢字500—』vol.2 (第2版)、凡人社	中間・期末テスト 50% クイズ・発表 30% 授業参加度 20%
	日本語 3 聴解 A	増田里香 (ますだ りか)	木曜・1限	N305	日常的で具体的な談話が理解できるようになる。	身近(みじか)なトピックのスピーチやニュースや会話(かいわ)などを聞いて、内容(ないよう)を理解(りかい)する練習(れんしゅう)をします。また、聞いた内容について、ほかの人と話(はな)す練習もします。語彙力(ごいりょく)をつけるために単語(たんご)のテストもします。	プリント配布	出席(しゅつせき)・参加度(さんかど)20%、 課題(かだい)20%、 小テスト・期末(きまつ)テスト60%
	日本語 3 特別演習 A 【プレゼンテーション】	小池 恵己子 (こいけ えみこ)	木曜・3限	N305	具体的でまとまりのある基本的なプレゼンテーションができるようになる。	・町やよく行く場所のようすを観察(かんさつ)し、気づいたことをまとめて発表します。また、興味(きょうみ)のあるテーマを決めて、知りたいことについて調べたり、アンケート調査(ちょうさ)をおこなったりして、その結果をまとめて発表します。 ・テーマをさがす参考(さんこう)にするために短い文章を読んで、ことばと表現を学びます。そして、調査をしたり結果を説明したりするときの表現や、発表で使う表現を練習します。	プリント配布	発表(はつびょう)30%、 課題(かだい)・提出物(ていしゅつぶつ)30%、 授業への参加度(参加度・出席)30%、クイズ10%
	日本語 3 特別演習 A 【メディアで学ぶ日本語】	許 夏玲 (ふい はーりん)	水曜・1限	N405	初級後半から中級の日本語のスキル(話す・聞く・読む・書く)が使えるようになる。	授業で使うメディアとは、絵本(えほん)、マンガのような図書(としょ)、歌、アニメなどのことです。授業では、これらのメディアをとおして、ピア活動やグループ活動によるプレゼンテーション、書評(しよひょう)ゲームも予定しています。日常のよく使う日本語を楽しく学ぶことを目的(もくてき)としています。	プリント配布	授業への参加度(さんかど)50%、 課題(かだい)・発表(はつびょう)50%
	日本語 2・3 特別演習 A 【多読】	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	金曜・1限	N313	辞書(じしょ)や参考書(さんこうしょ)を見ないで、母語(ぼご)にやくさないで、日本語を「勉強することば」から「自分で使えることば」にする。	4つのルールを守(まも)って、「多読の読み方」で教室にある好きなものを読みます。わからないことばがあっても辞書(じしょ)で調(しら)べません。メモもしません。「楽しい気持ち」で、どんどん読む「多読(たどく)」をします。読書記録(たどくきろく)をつけ、「おすすめの読み物」はみんなに発表(はつびょう)し、その中から面白(おもしろ)いものを読む「ブックトーク」もします。読みものは、「みんなで共有(きょうゆう)できるもの」とします。「日本語を読んで勉強する」のではなく、「日本語の本で遊ぶ」授業です。	*読むもの ①教室に準備してある本 ②授業時に紹介したサイトなど (自分だけの本は読みません)	読書記録(どくしよきろく)25% 授業時の取り組み(とりくみ)25% ブックトーク(発表)25% 学期末プロジェクト 25%

レベル	科目名	担当者 (ふりがな)	曜日・時限	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
4	日本語 4 総合 (文法) A 1-4	今井 美登里 (いまい みどり) 火 1・2 宮本 典以子 (みやもと ていこ) 金 1・2	火曜 1・2 限 金曜 1・2 限	N310	初級後半の文法項目 (こうもく) を習得 (しゅうとく) する。	テキストを使って初級後半の語彙 (ごい) や文法項目 (ぶんぽうこうもく) を理解 (りかい) し、使うことができるように練習します。	『できる日本語 初中級 本冊 第2版』 (アルク)、 『できる日本語 わたしの文法ノート 初中級 第2版』 (アルク)	授業活動 (じゅぎょうかつどう) への参加度 (さんかど) 40%、 宿題 (しゅくだい) 10%、 テスト・クイズ50%
	日本語 4 漢字 A	鈴木 美恵子 (すずき みえこ)	木曜・2限	N310	基本 (きほん) 漢字300~400を学ぶ。	漢字 (かんじ) の読 (よ) みと書 (か) きと意味 (いみ) の練習をします。1 回 (かい) に1課 (か) 勉強 (べんきょう) します。毎回 (まいかい)、小 (しょう) テストをします。	『 (新版) BASIC KANJI BOOK —基本漢字500— VOL. 2 (第2版) 』 凡人社	授業参加度 (じゅぎょうさんかど) 30%、 小テスト30%、 中間 (ちゅうかん) テスト・期末 (きまつ) テスト40%
	日本語 4 聴解 A	江口典子 (えぐちのりこ)	月曜・2 限	N310	日常 (にちじょう) の短い会話や説明が聞けるようになる。	いろいろな場面 (ばめん) での表現 (ひょうげん) や日常会話 (にちじょうかいわ) が聞き取れる (ききとれる) ような練習 (れんしゅう) をします。毎回 (まいかい)、前回 (ぜんかい) の授業 (じゅぎょう) で聞 (き) いた表現 (ひょうげん) についてミニクイズを行 (おこな) います。	プリントをくばります。	授業参加度 (じゅぎょうさんかど) 30%、 課題 (かだい) 40%、 小 (しょう) テスト・期末 (きまつ) テスト30%
	日本語 4 会話 A	荒井 直美 (あらい なおみ)	水曜・1限	N310	日常 (にちじょう) の会話コミュニケーションができるようになる。	勉強 (べんきょう) した言葉 (ことば) や文型 (ぶんけい) を使 (つか) って、いろいろな場面 (ばめん) の会話 (かいわ) を練習 (れんしゅう) します。	プリントをくばります。	授業参加度 (出席 (しゅっせき) ・授業態度 (じゅぎょうたいど)) 50%、 宿題 (しゅくだい) ・会話 (かいわ) 練習 (れんしゅう) の取り組み (とりくみ) 50%
	日本語 4 講読 A	江口典子 (えぐち のりこ)	月曜・1 限	N310	日常的 (にちじょうてき) で長くない文章が読めるようになる。	説明文 (せつめいぶん)、物語 (ものがたり)、インタビューなど様々 (さまざま) な文章 (ぶんしょう) を読 (よ) みます。語彙力 (ごいりょく) を増 (ふ) やします。	プリントをくばります。	授業参加度 (じゅぎょうさんかど) 30%、 課題 (かだい) 40%、 小 (しょう) テスト・期末 (きまつ) テスト30%
	日本語 4 作文 A	小西 円 (こにし まどか)	水曜・2 限	N310	ある程度まとまりのある文章が書けるようになる。	メインテキストの中 (なか) の「読読聞書」を使 (つか) って作文 (さくぶん) を書 (か) きます。また、日常的 (にちじょうてき) なことをテーマにして書 (か) きます。言葉 (ことば) や文法 (ぶんぽう) も勉強 (べんきょう) しながら作文 (さくぶん) を書 (か) きます。簡単 (かんたん) な文 (ぶん) から少 (すこ) し長 (なが) い文 (ぶん) や文章 (ぶんしょう) を書 (か) きます。文章 (ぶんしょう) の構成 (こうせい) も大切 (たいせつ) にします。	『できる日本語 初中級 本冊 第2版』 (アルク)、 プリントをくばります。	授業参加度 (じゅぎょうさんかど) 30%、 小 (しょう) テスト・課題 (かだい) 70%